



☆西脇市課題別研修会 日野こども園公開保育☆

—Vol.11からの続きです—

☆参加者の声

◎兵庫教育大学 鈴木教授助言

【4歳児】 友達と協力して制作を楽しみました。



ここ持つ
といて

ギュッギュッ
ってやって

友達と相談して、どのキノコを作るかを
決め、協力して作ることを楽しめました。

☆好きなキノコをとことん探究できる環境が
とても良いと思った。

☆2人で話しながら協力して作っている様子
や、行き詰った時の先生の声かけがすば
らしいと思った。



◎子どもが興味をもった「キノコ」に着目したところが良い。よく考えて作っていた。

◎4歳児で1つのことを追求しようとする先生が頑張らないと続けるのは難しい。よく続いたと思
う。一瞬興味をもつことができ、「皆でやると楽しいよね」が味わえると良いので、全員がずっと
興味をもち続けるようにしなければと考える必要がなかった。

◎いろいろな素材に触れて、その素材の「くせ」が分かれば良い。

※キノコの再生栽培に2回目挑戦中(1回目はアオカビが生えて失敗)

2人1組で、協力して大型ゴマを作り、コマに
付けた色の変化を楽しみました。

☆2人で協力しようとしたり、完成したコマで
じっくりと遊んだりして、とても良い時間だ
と思った。

☆子どもの意見からウッドデッキに出てコマを
回すことで、光の当たり具合による色の変化
にも気付いてすばらしかった。



ここに
つけよう。
もうちょっと
押して。

いろんな色貼った
のに、回したら銀色
だけに見えるわ。



◎「2人で相談」「2人で決める」が大事。

2人だと言葉がたくさん出てくる。2人なら折り合いがつけやすい。その経験が5歳児の話し合いにつながる。「2人で」は、何人か
で役割分担をしようとする一歩手前のこと。

◎「外で日の光に当てるときれい!」が分かって、すごく良かった。
先生の臨機応変な対応が子どもに気付きをもたらした。

※「この色とこの色を混ぜるとこんな色」という混色表を長くしていくことに挑戦中。

【5歳児】 日野小学校 1年生との交流を楽しみました。

サメだー!!バンバン
(持っている銃で)

※1学期に遊んだテーマパークがバージョンアップしています。

テーマパークに1年生をご招待。
お客さんが喜ぶように、皆で協力して
工夫して頑張りました。

サメの乗り物



BGMは
ジョーズの
テーマ曲♪



炎を出す係スタンバイ中

お化け屋敷



待つところが分かり
やすい入口と出口



ジェットコースターで滑っている
様子を手作りカメラで激写!
「写真はお持ち帰りくださいね」

このジェットコースター
に乗ってお化け屋敷に
入っていきます。



※2週間前にも小学1年生が来てくれています。

その時には、1年生のアイデアをもらおうと、いくつか質問しています。

Q1:ジェットコースターは、どうすれば本物みたいに滑れるかなあ。

A1:マットの上に段ボールや板を敷いたら滑るんじゃないかな。

A2:乗る箱に紐をつけて引っ張ったらどう?

Q2:お墓を作っているんだけど倒れないようにするにはどうすれば
いいのかなあ。

A1:そもそも立体にしたらええやん。

A2:その中に詰め物したらいい。

A3:斜めに立てかけたら?

Q3:キッチンカーで売る、アイスのコーンをどう作ったらいいかなあ。

A1:段ボールで作れば?

A2:折り紙を三角に折って、立体にしたらいいわ。

キッチンカー



※園児は1年生にいろいろ教えてもらえてうれしかったようです。2週間後、自分たちの
アイデアが採用されていて、1年生もとてもうれしかったようです。鼻高々でした。

お土産売り



1年生はお土産屋さんで買ったカチューシャを
つけて、各ブースを楽しそうに回っていました。

ライブ



ライブ会場セッティング中

ミセスグリーンアップルの「ライラック」を熱唱中



ライブ終わりにはメンバー紹介

メンバーの紹介をしまーす。
ドラム〇〇君。ギター
△△君。マラカス…
ボーカル 俺ー!!

すごく盛り上がったライブでした。手に持って振っているのは、2週間前に1年生と一緒に作ったペンライトです。日野小学校の校長先生もノリノリで、盛り上げてくださいました。

1年生と一緒に振り返り



☆皆、生き生きと活動していた。見ているだけで楽しくなる魅力的な活動だった。

☆1年生と一緒にした振り返りが良かった。1年生の伝え方が5歳児の良い刺激になっていると思った。

◎園児は自信満々の様子で、認め合うという信頼関係が出てきていた。5歳児は「工夫する」が大事。同じ内容の遊び(例:お店屋さんごっこ)を何回もやっていくことで自信がついてくる、力がついてくる。

◎先生の強い思い(願い)があると、子どもはそこに向かって育っていく。自分たちの思いに真剣に取り組んでくれる先生の存在が大切。

つなぐ vol.10 でもお伝えしましたが、西脇市では、「幼児期の教育」と「小学校教育」の円滑な接続に向けて園小接続の取組を進めているところです。

日野小学校との連携教育を推進されている日野こども園は、「校区の園児・児童の姿を肯定的に捉え、園小が共通認識の基、継続して取り組むことで、子どもたちの将来において役立つスキルや能力を養うことが大切だ」と考え取り組まれています。今回の公開保育では、こうした5歳児と1年生との連携の取組を見せていただきました。

1年生は日野こども園卒園児がほとんどでしたので、2週間前の交流でも園に帰って来れたことをうれしく思い、はりきって、年下の子の手助けになるように活動に取り組んでくれました。園児はそんな1年生のことをとても頼もしく思えたでしょうし、良きモデルとして見ていたと思います。また、園児は、小学校に入学しても、園に来ることがあるかもしれないと、わくわくしたかもしれません。

こんなお兄ちゃんお姉ちゃんたちが待っていてくれる小学校なら、安心して通えることでしょう。

日野こども園の皆さん。学びの場の提供をありがとうございました。

文責:橋本